



大槻ゆり子 議員

育児不安・悩みを軽減

今後の子育て世代包括支援への取り組みは？

妊娠、出産、育児へと切れ目ない支援に取り組みます。

答

問 育児相談の内容は。

答 健康福祉部長

昨年相談実績は延べ970件。お子さんの栄養や成長発達、健康面など成長段階の内容が多いです。また、育児の相談者や協力者が身近におられない場合の不安や負担感、転入の方の場合は地域資源がよくわからない等です。

問 高島市の産後ケアの取り組みは。

答 健康福祉部長

現在は出産後2ヶ月以内を目途とした新生児の全数訪問を保健師または助産師が行い、必要な場合は医療機関等とも連携を図りながら、産婦との信頼関係を築き産後うつへの早期対応も含めた健康面での支援、お子さんへの継続的な支援を行っております。

問 今後の子育て世代包括支援（高島版ネウボラ）への取り組みは。

答 健康福祉部長

妊娠・出産・育児へと切れ目ない支援を、全ての妊産婦と子どもたちに対してH29年度から取り組む予定です。「妊娠・出産包括支援事業」として産後の母子に対する心身のケアや授乳に関する助言、指導を行う「産後ケア事業」に加え、「産前産後サポート事業」、利用者支援事業の「母子保健型」の3事業を実施します。いわゆる「日本版ネウボラ」です。この取り組みにより

健康に関する様々な相談を丸ごと受け止め、コーディネートを行う窓口として、子育てに関する機関と密に連携を取りながら支援を行うとともに、ホームページや広報等で広く周知し、利用者の方が気軽に相談いただけるよう努めてまいります。

その他の質問

●地域おこし協力隊の導入でまちづくりを

問 高島市民病院産婦人科医の存続は。

答 病院事業管理者

4月より常勤医師一人と非常勤医師を派遣いただくこととなりました。



今後は、子育てや母子の健